

(様式第7号)

おおさかグローバル奨学金留学報告書

2015年2月23日

学 校 名		奨学金 交付年度	2014年度 平成25	
氏 名				
留 学 期 間	平成 26 年 3 月 29 日 ~ 27 年 2 月 6 日			
留 学 先	国 名	アメリカ	学校名	Shoreline Community College
専攻	英語			

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

私はアメリカのシアトルに10ヶ月、ホームステイしていました。その中で学んだことはたくさんありますが、いくつか紹介したいと思います。まずはホームステイの経験です。学校の寮や一人暮らしでなく、ホームステイをするというのは私にとって良い経験になりました。学校から帰っても英語の話せる環境にあり、ホストファミリーとアメリカや日本の文化、習慣について話したりしました。それは私にとってとても興味深く、勉強になりました。さらにはまたシアトルに行った時、帰る場所があるのはとても良いことだと思います。次に学校生活です。一番楽しかった授業はやはりESLのクラスです。私の学校プログラムは特殊で生徒が全員日本人という環境でしたが、全員英語を話したいという気持ちが強く、オール英語で頑張っていました。さらに私は一般のESLも3ヶ月経験したのですが、それもとても良い経験となりました。他の国からの留学生とのコミュニケーションを通して私の視野はとても広がったと思います。次に私はたくさん旅行をしました。ロサンゼルス、グランドキャニオン、ラスベガス、ニューヨーク、オーランド、カナダなどに行きました。すべて英語圏ではありますが、話し方が各州によって異なり、人のタイプも違い、とても興味深かったです。せっかく大きなアメリカに来たのだからシアトルだけでなく、いろいろな地へ赴くことができたのでとても良かったと思います。その土地の現地の人と触れ合うことができ、英語を通じてたくさんのことを学ぶことができました。

続いてこの留学生活において私が残した成果を言いたいと思います。私はこの留学中、TOEICの勉強に力を入れてきました。アメリカに行く前は500点ちょっとしかありませんでしたが、帰国直前には800点を超えることができました。これはやはり英語圏で生活することでリスニング力も自然と上がりました。だからこそリーディング力も上げようとしてしっかり勉強しました。分からないことがあれば、すぐに友達や先生に質問し、その都度疑問を解消していくようにしていました。しかしリーディングの勉強は日本でもできると思うので、スコアを上げたい人は日本にいる時から勉強しておくことをお勧めします。

次に私が10ヶ月の留学生活をこれからどう活かすかを説明していきます。私は今年は就活生です。だからこそ英語の活かせる仕事に就きたいと考えています。特に私はホテル業界を志望しております。ホテルには海外からたくさんのお客様がやってきます。そのお客様に英語を用いて日本のおもてなしをしていけたらいいと考えています。さらには5年後には東京オリンピックがあり、さらなる外国人観光客が増えると考えて、東京付近で働きたいと思っています。留学前はこのような明確な夢がなかったのですが、留学を通じて明確な夢を持つことができたのは私にとってとても良いことです。この夢がただの夢で終わらずことなく、叶えたいと思います。

最後にこれから留学する人へのアドバイスですが、まずは留学を思い切り楽しむことです。誰しもが留学にいけるというものではありません。留学生活はきっとあなたにとっても一生の宝物になるはずですが、そして留学を通して出会った人々が世界中にいることを考えるだけで私はとても幸せに感じます。その人たちとの別れは辛かったですが、またどこかで出会えると信じていることができるからこそ、このように今は日本で生活できているのだと思います。海外でしか学べないことがたくさんあると思います。それを一つでも多く、学んでそれからのあなたの将来に活かしていただきたい。きっと留学によってあなたの世界の見方が180度変わると私は思います。働くなら絶対に日本と考えていた私もゆくゆくは海外で働きたいと思えるようになったのもこの留学があったからです。だからこそ一人でも多くの人に留学に行ってもらいたいです。そして行く人には1日1日を大切に、たくさん経験をしてほしいと思います。

※上記の内容については、公表される場合があることを了承します。